

## 第7回 武田山フォーラム

## 毛利氏時代の武田山金山城

## - 広島発展の原点としての金山城 -

講師 県立広島大学人間文化学部長 秋山 伸隆 教授

金山城（武田山）は、天文10年（1541）武田氏滅亡後、大内氏そして毛利氏に引き継がれます。毛利元就は佐東郡（現在の安佐南区など）を隠居領として確保し、金山城を隠居所とする構想を持っていました。元就が重視した金山城は、天正10年（1582）来島村上氏の離反と慶長5年（1600）関が原の合戦前夜にも再び注目され修築が加えられています。

今日の広島市の発展の起点は毛利輝元による広島築城ですが、それは元就の死後約20年が経過して、元就の「夢」が孫の輝元の手によって現実となったとも評価できます。講演では、これまでほとんど知られていない毛利氏時代の金山城の実態に迫ります。

## 開催日時

平成22年 5月30日(日)

13:00 開場 / 13:30~15:30

## 開催場所

広島経済大学 6号館

広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

Pあり



## 講師紹介

1953年生まれ。広島大学文学部・同大学院で日本史を学ぶ。広島大学助手、広島文化女子短期大学助教授、広島女子大学助教授・教授を経て、2005年より現職。

専門は日本中世史。特に戦国大名毛利氏の研究を進めている。著書として『戦国大名毛利氏の研究』（吉川弘文館、1998年）、『図説広島市史』（分担執筆、広島市、1989年）などがある。

## プログラム

- ・ 13:00 開場
- ・ 13:30 地太鼓の演奏

安芸武田氏の時代から受け継がれた地太鼓の伝統を「広島和太鼓の会」が次の時代を担う小中学生に、地域の伝統文化としての和太鼓を指導しています。その若者たち「広島太鼓友の会」が、奉納太鼓・飛龍太鼓などを演奏します。

- ・ 14:00 講演
- ・ 15:30 終了

参加費 500円

事前の申し込みは不要です



たけちゃま

武田山のお宝伝説から生まれたお殿様キャラクター

主催：プロジェクト武田山 会長：根平 邦人（広島経済大学名誉教授）

後援：財団法人広島市文化財団 中国新聞社 祇園町商工会 広島経済大学 祇園公民館 祇園西公民館  
プロジェクト武田山は、中世に築かれた金山城の史跡が残る武田山を、市民にもっと親しまれる山にしようと、里山整備活動をはじめ、フォーラムやイベント活動を行っているボランティア団体です。

連絡先：プロジェクト武田山 事務局（祇園町商工会内）TEL082-875-3476

